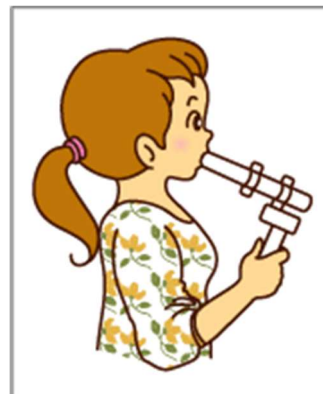


## 呼吸機能検査

### 呼吸機能検査

#### 検査の内容

大きく息を吸ったり吐いたりして、肺の機能を評価する検査です。  
正確に調べるために、精一杯吸ったり吐いたりしなくてはなりません。



#### 検査でわかること

年齢、性別、身長から算出された予測肺活量に対して、あなたの肺活量が何%であるかを調べます（%肺活量という）。

80.0%以上が基準範囲です。79.9%以下では肺のふくらみが悪いことを意味し、**間質性肺炎（かんじつせいはいえん）**や**肺線維症（はいせんいしょう）**などが考えられます。

基準範囲	異常
80.0 以上	79.9 以下

(単位 %)

また、最大に息を吸い込んでから一気に吐き出すとき、最初の1秒間に何%の息を吐きだせるかを調べます（1秒率という）。

69.9%以下では**慢性気管支炎、肺気腫（はいきしゅ）**などの**慢性閉塞性肺疾患**が考えられます。

基準範囲	異常
70.0 以上	69.9 以下

(単位 %)

#### 検査に関わる疾患

##### 慢性閉塞性疾患

肺気腫、慢性気管支炎などの肺の疾患です。せき、たん、呼吸困難などの症状がみられます。  
主な原因として喫煙があります。進行すると在宅酸素療法が必要となります。